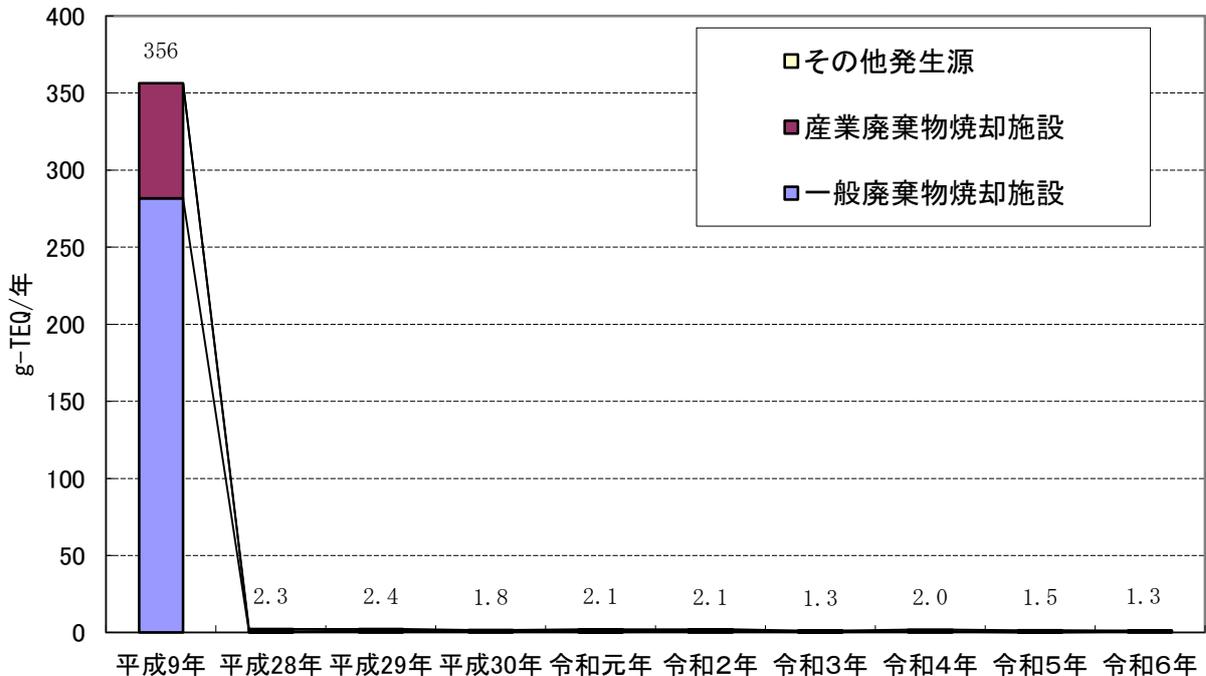


第四章 ダイオキシン類調査の結果

1 排出量の推移

県内におけるダイオキシン類の推計排出量は、発生源対策の推進により、平成9年度以降、大幅に減少し、近年では低い値で推移しています。



【推計方法】

- 平成9年度は、排ガス量原単位を用いて推計しました。なお、その他の発生源への排出量は推計していません。
- 平成18年度以降は、事業者の自主測定結果、県や市の検査結果及び排ガス量原単位を加味して算出しました。
- 自主測定が未報告の施設の排出量は、「ダイオキシン類排出量の目録」の施設規模区分別の平均年間排出量または直近の測定結果を用いて推計しました。

2 常時監視等環境調査の結果

県では、平成12年度以降、県所管域の汚染の状況を把握するため、ダイオキシン法に基づいた常時監視等環境調査を行っています。

令和6年度の調査結果は次のとおりであり、大気や水質等、すべての地点で環境基準を達成していました。

<ダイオキシン類の環境基準>

耐受一日摂取量*を基本に、「人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準」として、大気や水質、土壌等についてダイオキシン類の環境基準が定められています。国や県等の行政機関は、この環境基準を達成することを目標に、発生源対策や環境汚染状況の調査測定等を進めることになっています。

耐受一日摂取量*
(TDI)

4 pg-TEQ/kg/日



環境基準

ダイオキシン類の環境基準

大気：0.6 pg-TEQ/m³以下
水質：1 pg-TEQ/L以下
底質：150 pg-TEQ/g以下
土壌：1,000 pg-TEQ/g以下

* 人が一生涯にわたり摂取しても有害な影響が現れないと判断される一日当たりの摂取量（体重1kgあたり）

(1) 大気調査

■ 県及び政令市が実施した調査結果

県所管域の8地点、政令4市の15地点で調査を行ったところ、すべての地点で環境基準（年平均で0.6pg-TEQ/m³）を達成しました。

令和6年度大気調査結果

（単位：pg-TEQ/m³）

	地点数	平均（最低～最高）	環境基準超過地点数	備考
県及び政令市の 常時監視	23 (15) 注1)	0.0094 (0.0046～0.032)	なし	年2回
全国の調査結果	511	0.013 (0.0025～0.13)	なし	令和5年度の全調査地点のうち年2回以上調査した地点
県の過去の検出範囲	0.0032～3.30 注2)			平成元年度～令和5年度

注1) () 内は政令市の内数。

注2) 平成元～11年度はCo-PCBを含みません。

[参考] 過去10年間の県の調査結果（各数値は調査結果の平均値）

（単位：pg-TEQ/m³）

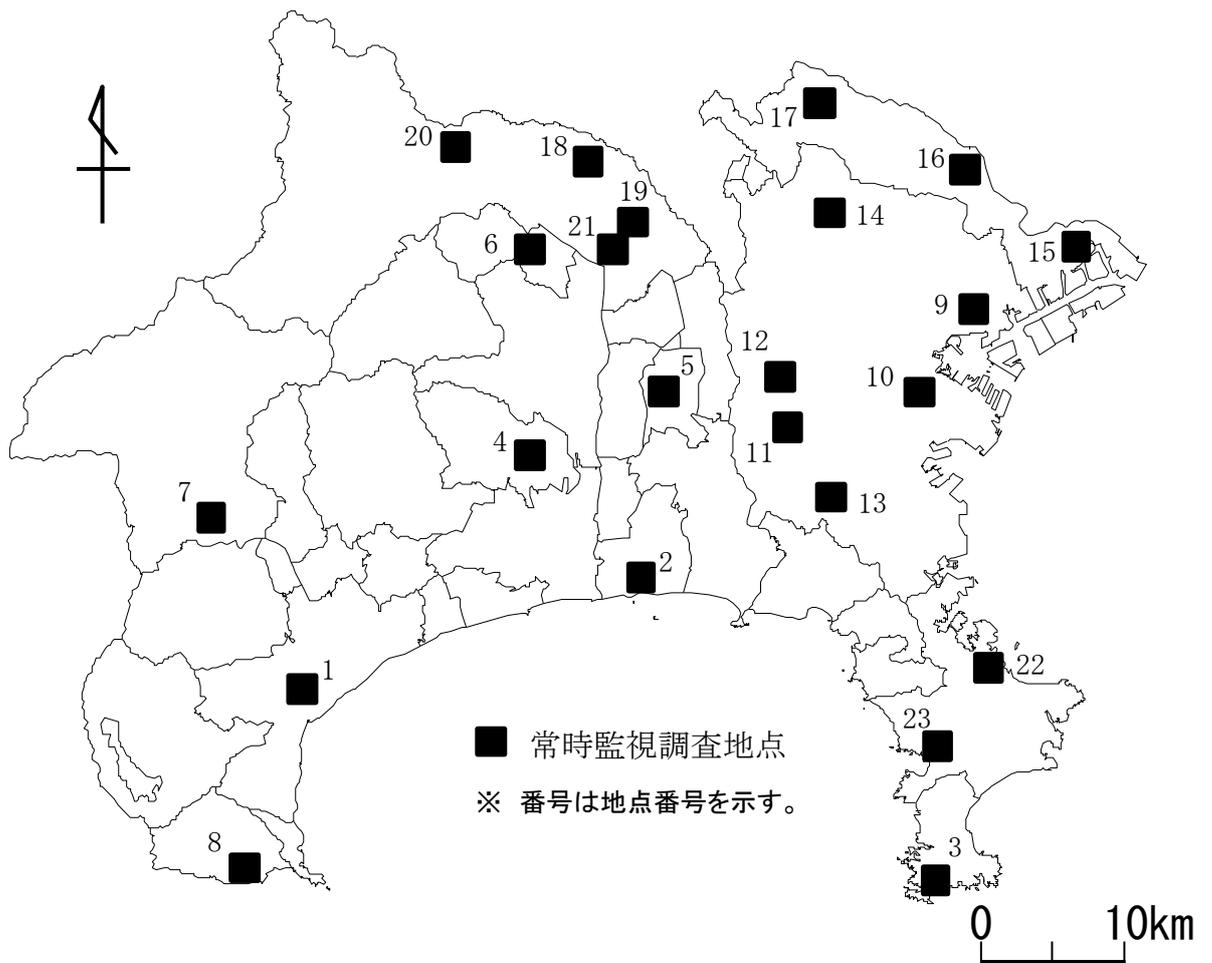
年度	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
濃度	0.017	0.014	0.015	0.016	0.015	0.016	0.016	0.013	0.0081	0.0094

■ 県内全域での調査結果（令和6年度 年平均値）

表1 大気関係の常時監視結果(年平均値)

No	実施機関	市町村名	測定地点	年平均値 pg-TEQ/m ³	No	実施機関	市町村名	測定地点	年平均値 pg-TEQ/m ³
1	県	小田原市	小田原市役所	0.0056	15	川崎市	川崎市	大師測定局	0.0097
2		茅ヶ崎市	茅ヶ崎市役所	0.0078	16			中原測定局	0.0077
3		三浦市	三浦市役所	0.0073	17			生田浄水場	0.0076
4		伊勢原市	伊勢原市役所	0.0049	18	相模原市	相模原市	相模原市役所	0.0071
5		綾瀬市	綾瀬市消防本部	0.012	19			相模台測定局	0.0093
6		愛川町	愛川町役場	0.0065	20			津久井測定局	0.0076
7		山北町	山北町役場	0.012	21			相武台中学校	0.032
8		湯河原町	湯河原町役場	0.0046	22	横須賀市	横須賀市	横須賀市役所	0.0072
9	横浜市	横浜市	鶴見区生麦	0.016	23			西行政センター	0.0066
10			西区平沼	0.013			最大値	0.032	
11			戸塚区汲沢	0.0072			最小値	0.0046	
12			瀬谷区南瀬谷	0.0077			平均値	0.0094	
13			栄区犬山町	0.0064					
14			青葉区市ヶ尾町	0.0093					

（環境基準：0.6pg-TEQ/m³）



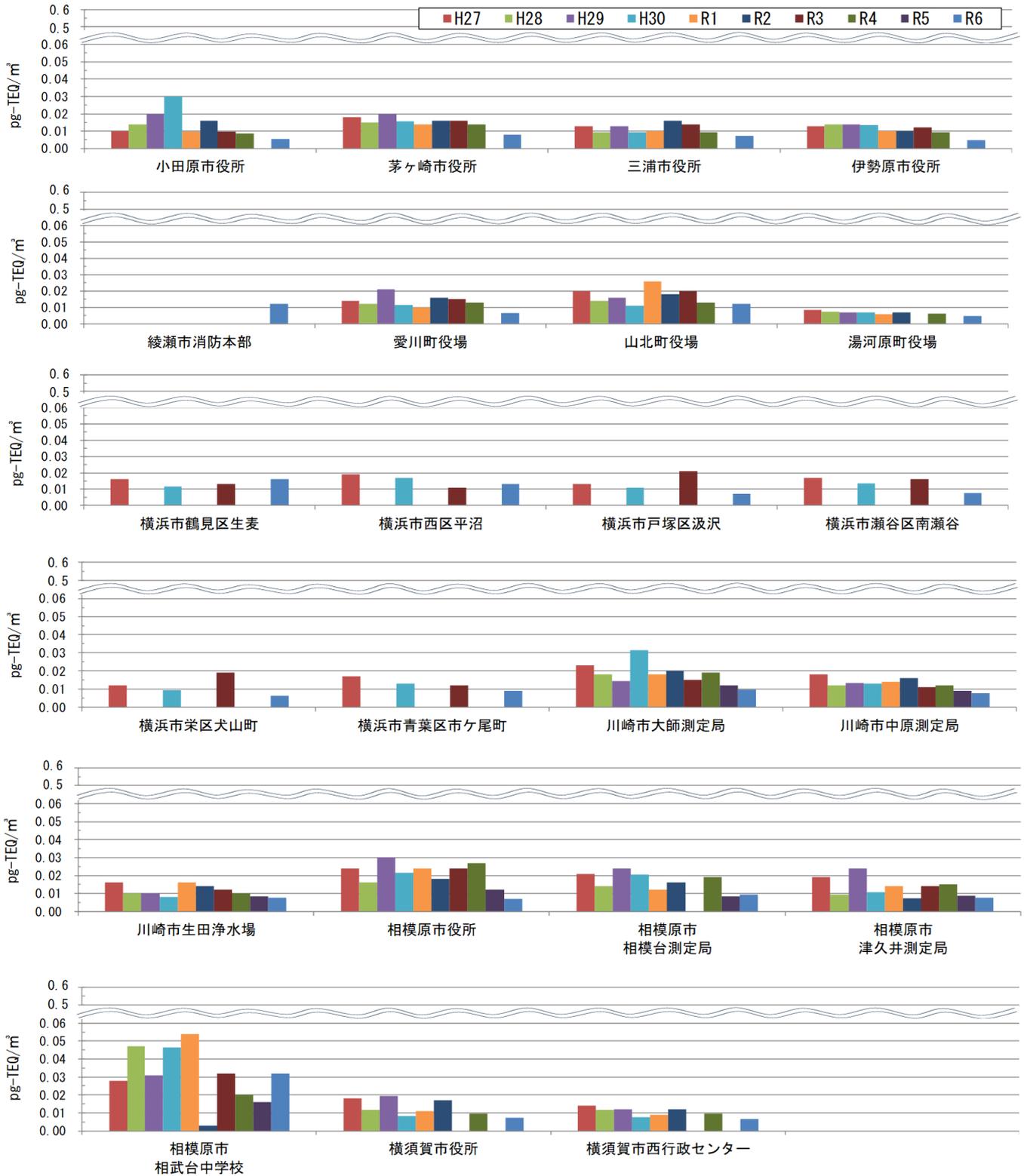
■ 参考資料

政令市以外の市町村が実施した調査結果（令和6年度 年平均値）

（単位：pg - TEQ/m³）

実施者	調査地点	年平均値
平塚市	平塚市立岡崎小学校	0.0056
鎌倉市	浄明寺緑地	0.0067
	大町広場	0.0058
	第一中学校	0.0085
小田原市	小田原市消防本部	0.0080
海老名市	上今泉コミュニティセンター	0.0058
	大谷コミュニティセンター	0.0062
	本郷コミュニティセンター	0.0068
南足柄市	旧北足柄小学校	0.037
箱根町	芦之湯集会所	0.0040
	畑宿寄木会館周辺	0.0064

大気常時監視地点調査結果の経年変化（県及び政令市 平成 27～令和 6 年度）



* 大気に係るダイオキシン類の環境基準は、0.6 pg-TEQ/m³です。

(2) 公共用水域水質調査

■ 県、国及び政令市が実施した調査結果

令和6年度は、41 地点において実施したところ、すべての地点で環境基準（年平均で1 pg-TEQ/L）を達成しました。

令和6年度水質調査結果

(単位：pg-TEQ/L)

		地点数	平均（最低～最高）	環境基準超過地点数	備考
県、国及び政令市の常時監視	河川	29 (14) 注1)	0.088 (0.030～0.29)	なし	年1回調査
	湖沼	1 (1) 注1)	0.044	なし	年1回調査
	海域	11 (9) 注1)	0.083 (0.061～0.16)	なし	年1回調査
全国	公共用水域	1,304	0.18 (0.0081～2.9)	25	令和5年度
県内の過去の検出範囲		ND (不検出) ～0.97注2)			平成元～令和5年度

注1) () 内は国及び政令市の内数。

注2) 平成10～11年度はCo-PCBを含みません。

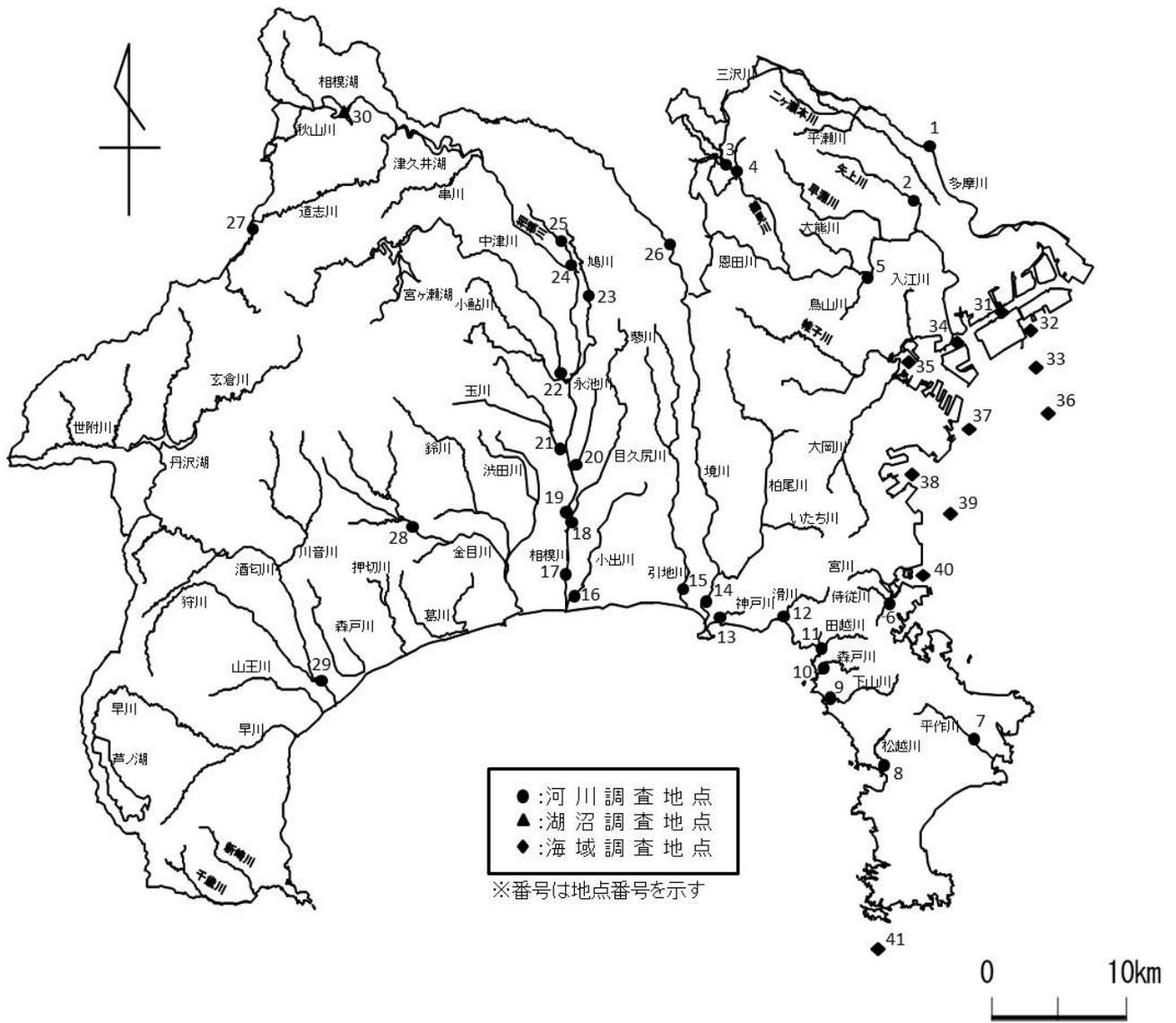
[参考] 過去10年間の調査結果（各数値は調査結果の平均値）

(単位：pg-TEQ/L)

年度	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
河川	0.073	0.084	0.080	0.079	0.084	0.086	0.083	0.078	0.076	0.088
湖沼	0.040	0.060	—	0.057	0.044	0.067	0.051	—	0.037	0.044
海域	0.062	0.088	0.066	0.12	0.071	0.068	0.072	0.071	0.11	0.083

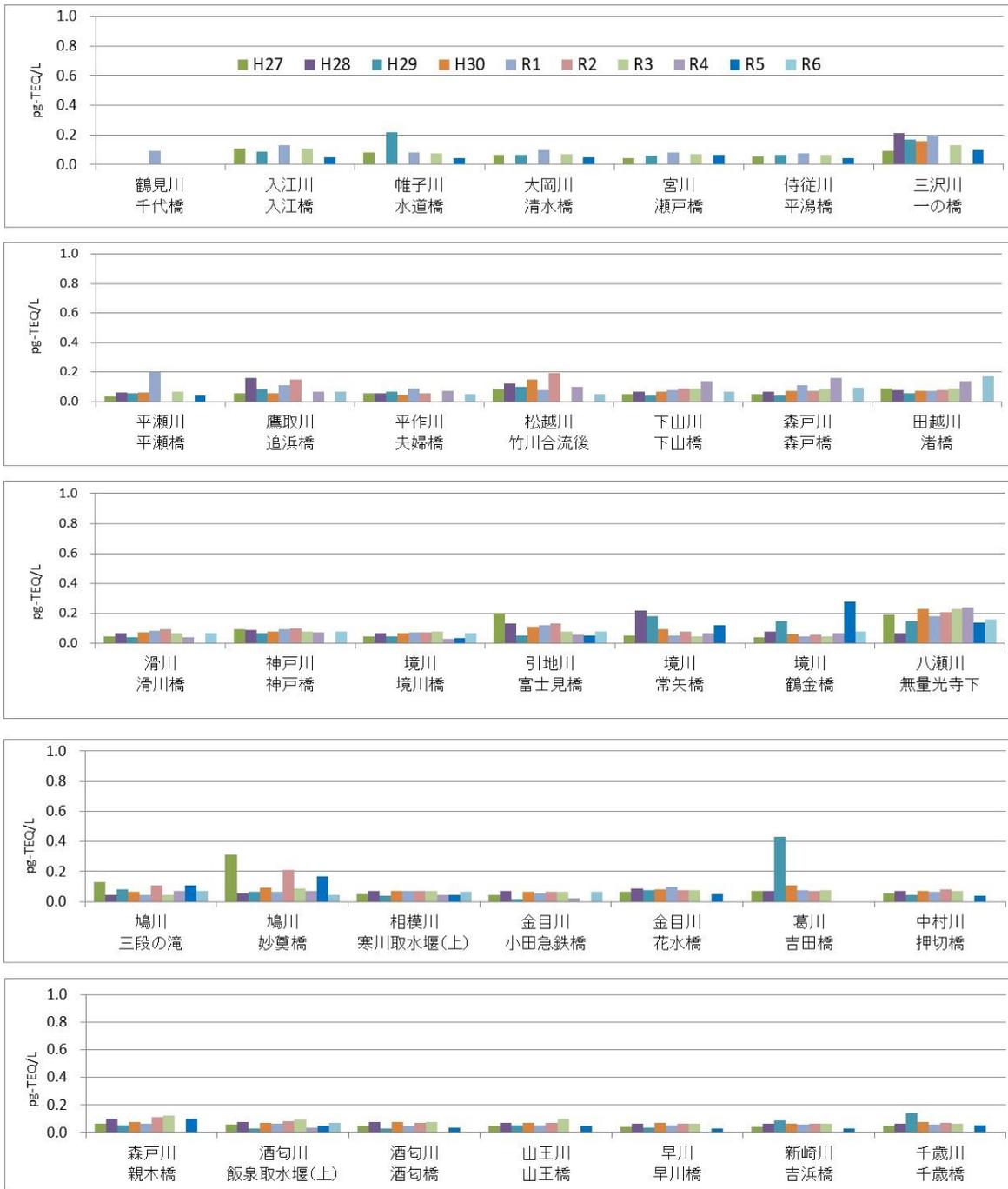
■ 県内全域での調査結果（令和6年度）

No	測定機関	水域名	地点名	水質 (pg-TEQ/L)	No	測定機関	水域名	地点名	水質 (pg-TEQ/L)		
1	国土交通省	多摩川	田園調布取水堰(上)	0.090	23	相模原市	相模川	鳩川	妙篋橋	0.043	
2	川崎市	鶴見川	矢上川	日吉橋	0.068			24	鳩川	三段の滝	0.073
3			麻生川	耕地橋	0.064			25	八瀬川	無量光寺下	0.16
4			真福寺川	水車橋前	0.063	26	境川	鶴金橋	0.080		
5	国土交通省	鶴見川	亀の子橋	0.11	27	相模原市	相模川	道志川	両国橋	0.030	
6	横須賀市	鷹取川	追浜橋	0.069	28	神奈川県	金目川	小田急鉄橋	0.065		
7		平作川	夫婦橋	0.048	29		酒匂川	飯泉取水堰(上)	0.069		
8		松越川	竹川合流後	0.050	30	相模原市	相模湖	湖央東部	0.044		
9	神奈川県	下山川	下山橋	0.069	31	川崎市	東京湾	京浜運河扇町	0.16		
10		森戸川(葉山町)	森戸橋	0.096	32			東扇島防波堤西	0.077		
11		田越川	渚橋	0.17	33			扇島沖	0.070		
12		滑川	滑川橋	0.068	34			鶴見川河口先	0.10		
13		神戸川	神戸橋	0.080	35			横浜港内	0.075		
14		境川	境川橋	0.067	36			神奈川県	中の瀬北	0.12	
15		引地川	富士見橋	0.077	37			横浜市	本牧沖	0.062	
16		相模川	小出川	宮の下橋	0.29				38	磯子沖	0.061
17	国土交通省	相模川	馬入橋	0.10	39	富岡沖	0.062				
18	神奈川県	相模川	目久尻川	河原橋	0.13	40	平潟湾内	0.066			
19		相模川	寒川取水堰(上)	0.066	41	神奈川県	相模湾	城ヶ島沖	0.065		
20		相模川	永池川	新竹沢橋	0.12	最大値			0.29		
21			玉川	相川水位観測所	0.067	最小値			0.030		
22			中津川	第一鮎津橋	0.066	平均値			0.086		



■ 参考資料

河川水質常時監視地点調査結果の経年変化（平成27～令和6年度）



政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位：pg-TEQ/L

実施者	河川名等	調査地点	水質
			年平均値
藤沢市	引地川	富士見橋	0.060
	境川	境川橋	0.039
南足柄市	内川	清掃工場付近	0.10
綾瀬市	目久尻川	用田橋	0.026
	蓼川	新境橋	0.028
箱根町	早川	環境センター周辺	0.61

(3) 底質調査

■ 県、国及び政令市が実施した調査結果

令和6年度は、28地点において実施したところ、すべての地点で環境基準（150pg-TEQ/g）を達成しました。

令和6年度底質調査結果

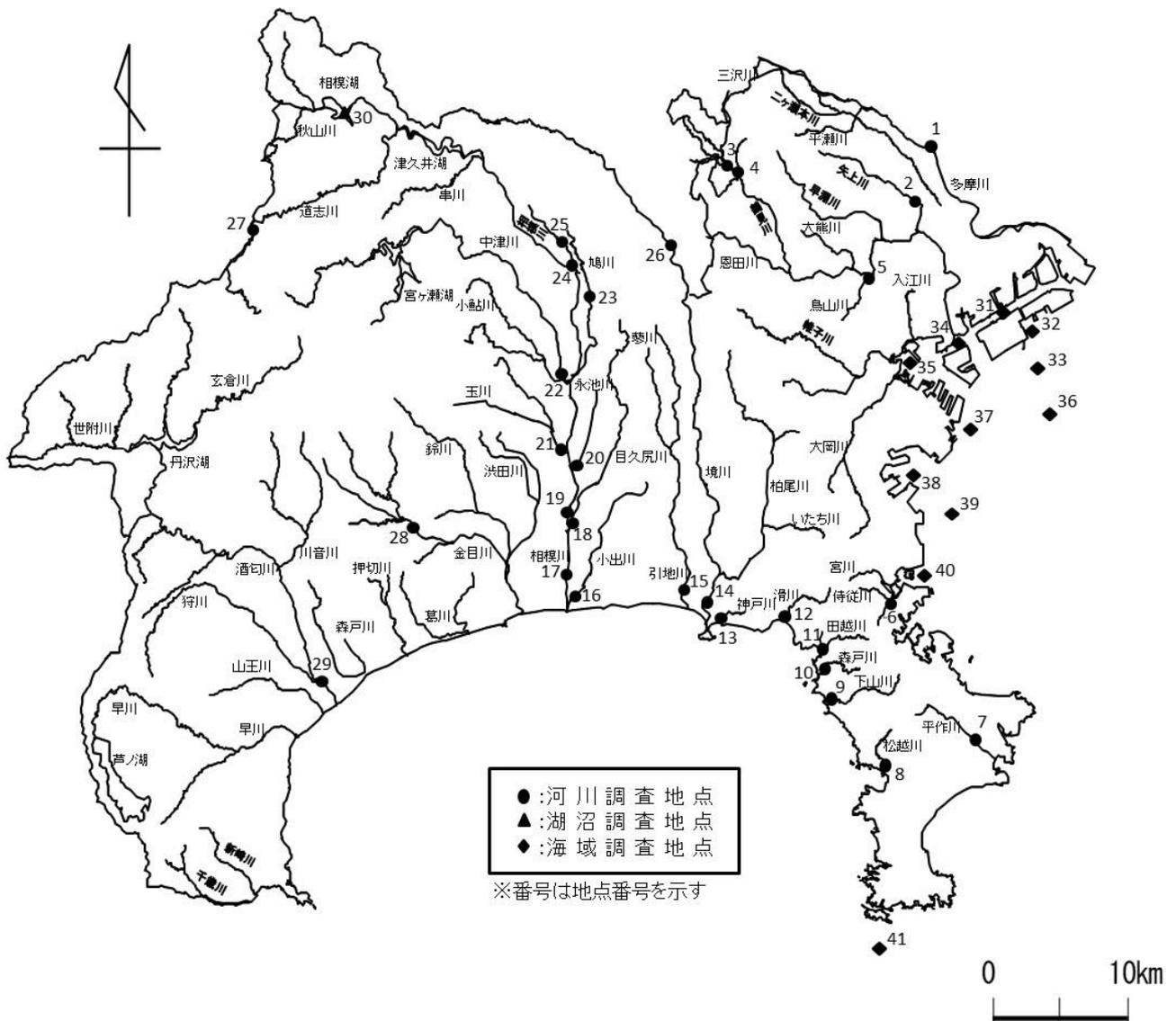
(単位：pg-TEQ/g)

		地点数	平均 (最低～最高)	環境基準超過地点数	備考
県、国及び政令市の常時監視	河川	16 (11) 注)	3.4 (0.20～24)	なし	年1回調査
	湖沼	1 (1) 注)	5.1 (5.1)	なし	年1回調査
	海域	11 (9) 注)	12 (0.99～45)	なし	年1回調査
全国の調査結果		1,078	5.6 (0.0092～410)	2	令和5年度

注) () 内は国及び政令市の内数。

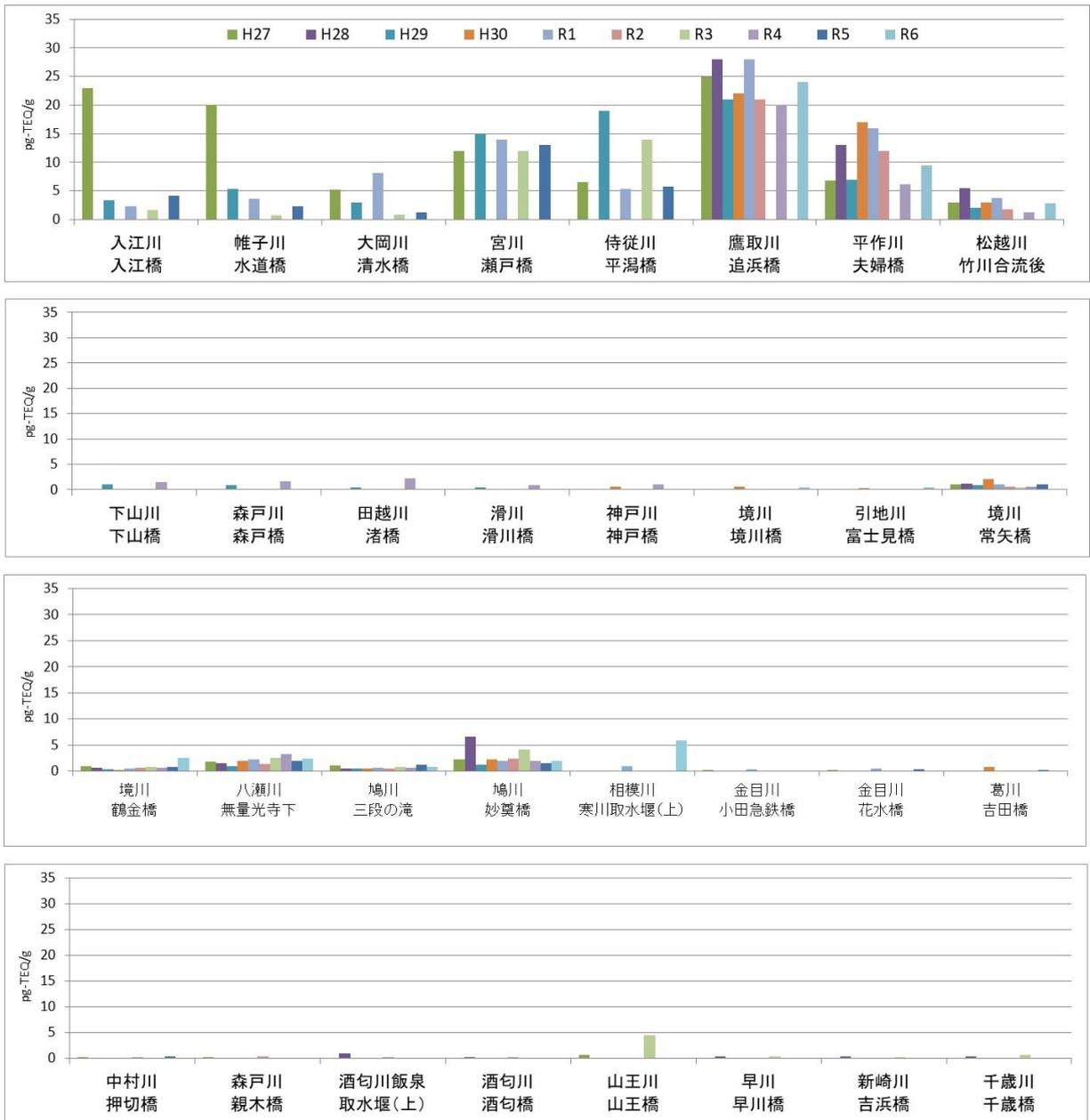
■ 県内全域での調査結果 (令和6年度)

No	測定機関	水域名	地点名	底質 (pg-TEQ/g)	No	測定機関	水域名	地点名	底質 (pg-TEQ/g)	
1	国土交通省	多摩川	田園調布取水堰(上)	0.72	23	相模原市	相模川	鳩川	妙奠橋	2.0
2	川崎市	鶴見川	矢上川	日吉橋	-			24	鳩川	三段の滝
3			麻生川	耕地橋	-		25	八瀬川	無量光寺下	2.4
4			真福寺川	水車橋前	-		26	境川	鶴金橋	2.6
5	国土交通省	鶴見川	亀の子橋	0.31	27	相模川	道志川	両国橋	0.20	
6	横須賀市	鷹取川	追浜橋	24	28	神奈川県	金目川	小田急鉄橋	-	
7		平作川	夫婦橋	9.5	29	酒匂川	飯泉取水堰(上)	-		
8		松越川	竹川合流後	2.9	30	相模原市	相模湖	湖央東部	5.1	
9	神奈川県	下山川	下山橋	-	31	川崎市	東京湾	京浜運河扇町	45	
10		森戸川(葉山町)	森戸橋	-	32			東扇島防波堤西	14	
11		田越川	渚橋	-	33			扇島沖	15	
12		滑川	滑川橋	-	34			鶴見川河口先	3.3	
13		神戸川	神戸橋	-	35			横浜港内	23	
14		境川	境川橋	0.43	36			神奈川	中の瀬北	13
15		引地川	富士見橋	0.45	37			本牧沖	6.9	
16		相模川	小出川	宮の下橋	-			38	横浜	磯子沖
17	国土交通省	相模川	馬入橋	1.6	39	富岡沖	1.8			
18	神奈川県	相模川	目久尻川	河原橋	-	40	平潟湾内	11		
19		相模川	寒川取水堰(上)	5.9	41	神奈川県	相模湾	城ヶ島沖	0.99	
20		相模川	永池川	新竹沢橋	-	最大値		45		
21		相模川	玉川	相川水位観測所	0.52	最小値		0.20		
22		中津川	第一鮎津橋	0.31	平均値		7.0			



■ 参考資料

河川底質常時監視地点調査結果の経年変化（県及び政令市 平成27～令和6年度）



政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位: pg-TEQ/g

実施者	河川名等	調査地点	底質
			年平均値
藤沢市	引地川	富士見橋	0.55
	境川	境川橋	0.64

(4) 土壌調査

■ 県及び政令市が実施した調査結果

令和6年度は、23地点において実施したところ、すべての地点で環境基準(1,000pg-TEQ/g)を達成したほか、ダイオキシン類対策特別措置法で追加的な調査が必要とされる基準値(250pg-TEQ/g)も下回りました。

令和6年度土壌調査結果

(単位: pg-TEQ/g)

	地点数	平均(最低~最高)	環境基準超過地点数	備考
県及び政令市の常時監視	23(17) ^{注1)}	2.9(0.013~19)	なし	年1回調査
全国の調査結果	683	2.6(0.0~140)	なし	令和5年度
県内の過去の検出範囲		0.0016~110 ^{注2)}		平成10~令和5年度 ^{注3)}

注1) ()内は政令市の内数。

注2) 平成10~11年度はCo-PCBを含みません。

注3) 平成10~14年度及び平成18年度以降は一般環境把握調査、平成15~17年度は発生源周辺調査を実施しました。

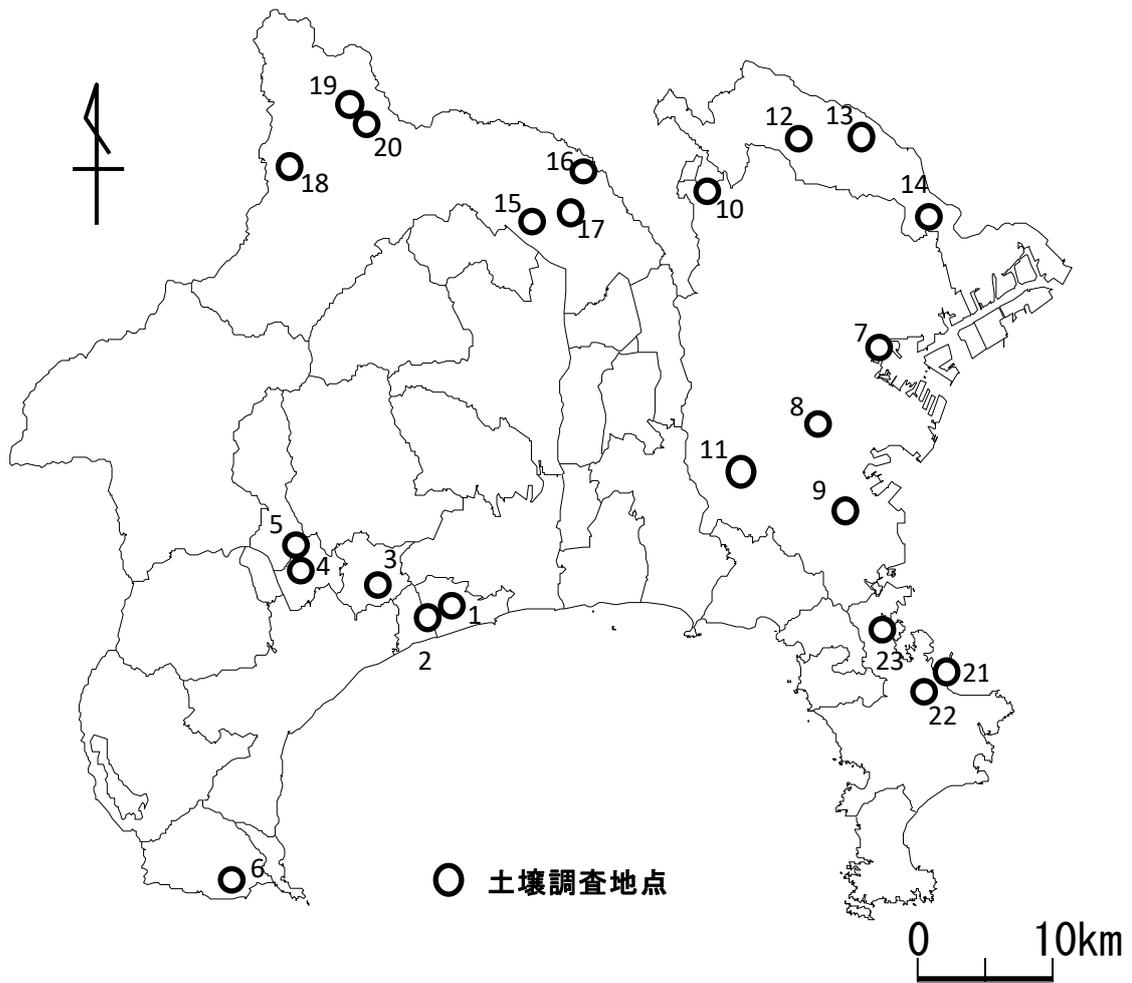
[参考] 過去10年間の調査結果

(単位: pg-TEQ/g)

年 度	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
調査結果	0.045 ~ 34	0.0048 ~ 14	0.0089 ~ 8.6	0.0082 ~ 8.3	0.00017 ~ 16	0.013 ~ 12	0.020 ~ 24	0.00031 ~ 67	0.0028 ~ 11	0.013 ~ 19

■ 県内全域での調査結果(令和6年度)

No	測定機関	調査地点	土壌 (pg-TEQ/g)	No	測定機関	調査地点	土壌 (pg-TEQ/g)
1	神奈川県	大磯町石神台	8.0	15	相模原市	田名中学校	2.2
2		二宮町富士見が丘	0.057	16		大野北中学校	1.6
3		中井町半分形	0.95	17		弥栄小学校	3.3
4		大井町金手	0.16	18		藤野南小学校	1.4
5		松田町松田惣領	0.52	19		桂北小学校	1.6
6		湯河原町土肥	1.1	20		相模湖林間公園	0.42
7	横浜市	星野町公園	2.0	21	横須賀市	うみかぜ公園	1.7
8		六ツ川一丁目公園	1.0	22		公郷公園	1.8
9		洋光台四丁目第二公園	0.044	23		船越町1丁目公園	7.6
10		奈良町第九公園	0.087			最大値	19
11		中田町丸の内公園	0.013			最小値	0.013
12	川崎市	宮前美しい森公園	0.28		平均値	2.9	
13		梶ヶ谷第2公園	19				
14		小倉アベリア公園	12				



■ 参考資料

政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位 : pg-TEQ/g

実施者	地点数	調査結果
鎌倉市	5	0.0090~1.2
南足柄市	1	18

(5) 地下水調査

■ 県及び政令市が実施した調査結果

令和6年度は、26地点において実施したところ、すべての地点で環境基準（1pg-TEQ/L）を達成しました。

令和6年度地下水調査結果

（単位：pg-TEQ/L）

	地点数	平均（最低～最高）	環境基準超過地点数	備考
県及び政令市の常時監視	26（20） ^{注1）}	0.055（0.028～0.077）	なし	年1回調査
全国の調査結果	456	0.044（0.00052～0.94）	なし	令和5年度
県内の過去の検出範囲		0.010～2.0 ^{注2）}		平成12～令和5年度

注1）（ ）内は政令市の内数。

注2）平成14年度に相模原市内の地下水1地点で環境基準を超過しました。

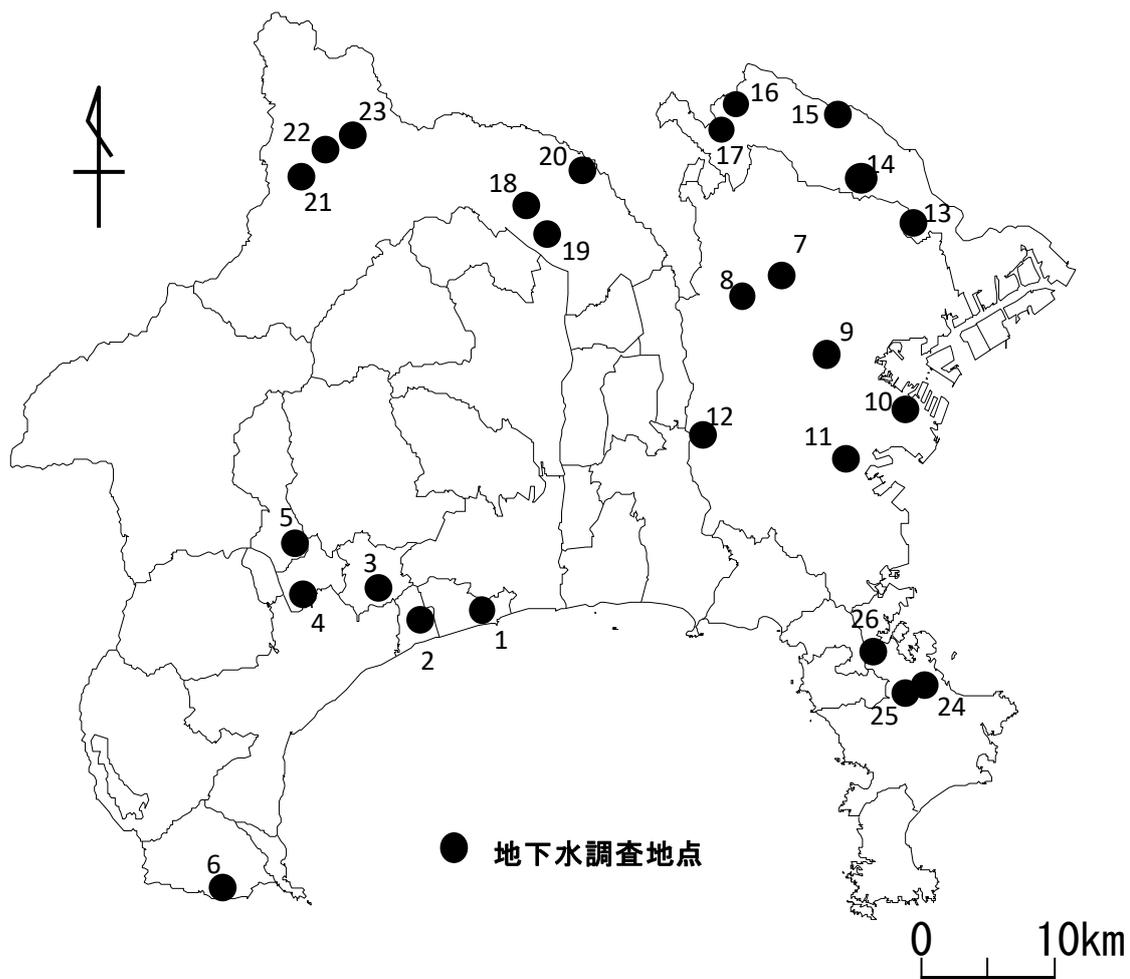
[参考] 過去10年間の調査結果

（単位：pg-TEQ/L）

年 度	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
調査結果	0.021 ～ 0.094	0.039 ～ 0.19	0.010 ～ 0.66	0.030 ～ 0.18	0.028 ～ 0.086	0.016 ～ 0.10	0.015 ～ 0.085	0.015 ～ 0.092	0.014 ～ 0.065	0.028 ～ 0.077

■ 県内全域での調査結果（令和6年度）

No	測定機関	調査地点	地下水 (pg- TEQ/L)	No	測定機関	調査地点	地下水 (pg- TEQ/L)
1	神奈川県	大磯町東小磯	0.063	18	相模原市	中央区田名	0.029
2		二宮町二宮	0.062	19		中央区田名	0.036
3		中井町北田	0.062	20		中央区淵野辺	0.028
4		大井町西大井	0.062	21		緑区牧野	0.031
5		松田町神山	0.062	22		緑区牧野	0.028
6		湯河原町土肥	0.062	23		緑区若柳	0.028
7	横浜市	都筑区川和町	0.060	24	横須賀市	富士見町一丁目	0.077
8		緑区三保町	0.060	25		佐野町三丁目	0.062
9		保土ヶ谷区東川島町	0.060	26		田浦大作町	0.063
10		中区和田山	0.061		最大値	0.077	
11		港南区上大岡東三丁目	0.060		最小値	0.028	
12		泉区上飯田町	0.060		平均値	0.055	
13	川崎市	幸区南加瀬	0.063				
14		宮前区南野川	0.062				
15		多摩区堰	0.062				
16		多摩区西生田	0.065				
17		麻生区上麻生	0.062				



■ 参考資料

政令市以外の市町村が実施した調査結果

単位：pg-TEQ/L

実施者	地点数	調査結果
鎌倉市	4	0.055～0.13
座間市	3	0.060
箱根町	1	0.065

(6) 今後の環境調査

県では、ダイオキシン類の環境調査を平成20年度までは3か年計画で、平成21年度以降は単年度計画で実施しております。ダイオキシン類については依然として県民の関心が高いことから、今後も環境調査を継続します。

(7) 水道水の調査

水道水中に含まれるダイオキシン類の実態調査を行っています。水道水には、目標値（暫定）として1pg-TEQ/Lが定められています。

令和6年度の結果を下表に示します。原水（浄水場できれいにする前の河川水）、浄水（水道水として浄水場から送り出す水）の調査結果は、共に目標値（暫定）を満足していました。特に浄水の調査結果は、目標値（暫定）の100分の1未満であり、安全性が確認されています。

令和6年度原水及び浄水調査結果

単位：pg-TEQ/L

	実施者	河川名	調査地点	実施月	調査結果
原水	相模川・酒匂川水質協議会	相模川	津久井分水池	9月	0.018
			社家地点	9月	0.024
			寒川地点	9月	0.033
		酒匂川	飯泉地点	9月	0.023
浄水	企業庁	相模川	谷ヶ原浄水場	9月	0.00040
			寒川浄水場	9月	0.00036

注) 相模川・酒匂川水質協議会は、神奈川県企業庁、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局及び神奈川県内広域水道企業団により構成され、水道水源の水質保全に関する活動を行っています。

